別記様式第２号（その４）

（日本工業規格Ａ列４番）

（表）

避難計算確認書

|  |
| --- |
| 火災室関係 |
|  | 階 | 室番号等 | 内装（壁・天井仕上げ） | 寝具・布張り家具 | 区画形成 | 火災室隣室 |
| 床面積（㎡） | 天井高さ（ｍ） |
| １ |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| ２ |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| ３ |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| ４ |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| ５ |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| ６ |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| ７ |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| ８ |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| ９ |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| 10 |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| 11 |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| 12 |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| 13 |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| 14 |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| 15 |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| 16 |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| 17 |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| 18 |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |
| 19 |  |  | □ 不燃□ 準不燃□ 難燃 | □ 防炎□ 非防炎 | □ 防火□ 不燃□ その他 |  |  |

（裏）

備考　１　階欄には、要保護者の居室、共用の居室等が存する階を記入してください。

２　室番号等欄には、要保護者の居室、共用の居室等の室番号、室名等を記入してください。

３　内装（壁・天井仕上げ）欄には、要保護者の居室、共用の居室等の壁、天井の室内に面する部分の仕上げについて、不燃材料の場合は「不燃」の□にレ点、準不燃材料の場合は「準不燃」の□にレ点、難燃材料の場合は「難燃」の□にレ点を記入してください。

４　寝具・布張り家具欄には、寝具（ふとん、ベッドパッド、枕（陶製のもの及び籐製のものを除く。）、マットレス、毛布、ベッドスプレッド、タオルケット等）・布張り家具のすべてが防炎性能を有するもの（（財）日本防炎協会の防炎製品認定委員会において認定された防炎製品に限る。）である場合は「防炎」の□にレ点、寝具、布張り家具のうち一つでも防炎性能を有しないものがある場合は「非防炎」の□にレ点を記入してください。

５　区画形成欄には、居室と当該居室から避難する隣接した室（廊下等）との間における区画のすべてについて、防火区画を形成している場合は「防火」の□にレ点、不燃区画を形成している場合は「不燃」の□にレ点、防火区画・不燃区画以外の区画を形成している場合は「その他」の□にレ点を記入してください。

※１　防火区画を形成する部分の条件は次のとおり。

⑴　壁・床：準耐火構造であること。

⑵　開口部：常時閉鎖式防火設備又は煙感知器連動閉鎖式防火設備であること。

※２　不燃化区画を形成する部分の条件は次のとおり。

⑴　壁・天井：室内に面する部分の仕上げが準不燃材料でされているものであること。

⑵　開口部：常時閉鎖式防火設備又は煙感知器連動閉鎖式防火設備若しくは準不燃材料で作られた戸（常時閉鎖式又は煙感知器連動閉鎖式）を設けたものであること。

※３　上記以外の区画を形成する部分の条件は次のとおり。

⑴　壁・天井：室内に面する部分の仕上げ等は、問わないものであること。

⑵　開口部：常時閉鎖式又は煙感知器連動閉鎖式の戸を設けたものであること。（襖、障子等による仕切りは、当該区画に含まれないものであること。）

６　火災室隣室欄には、居室から避難する隣接した室（廊下等）の床面積及び天井高さを記入すること。